

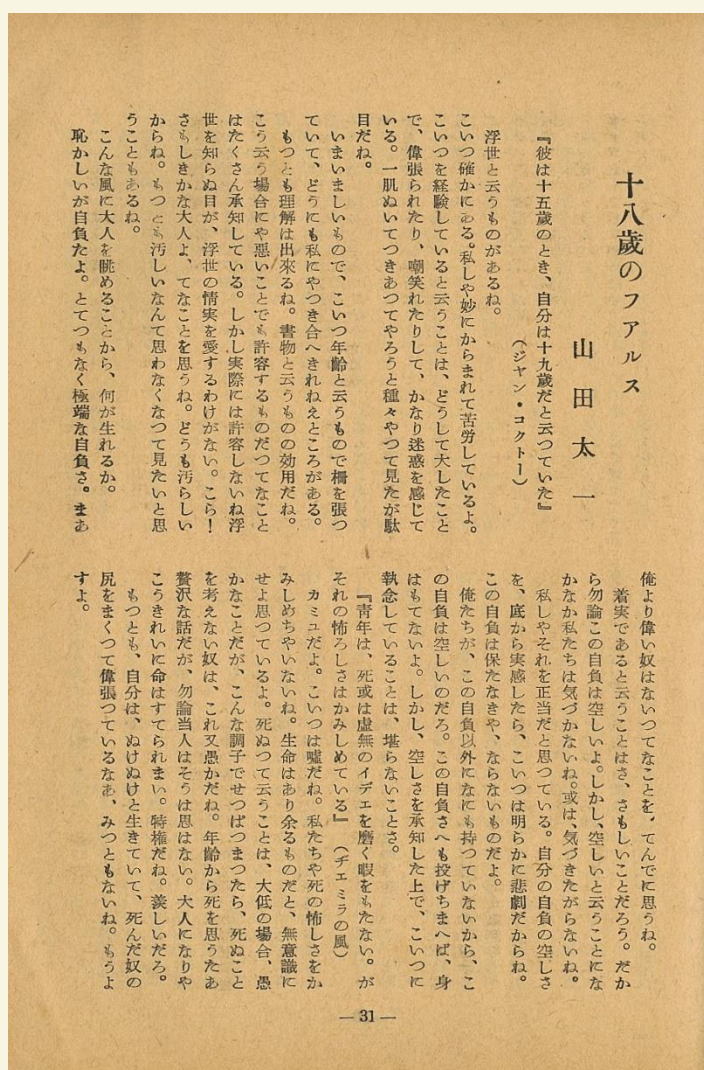
# 令和6年度企画展

## 小田高とシナリオ作家 山田太一

### ～小田原高校第5回卒業生（1953年卒）～

山田太一 は名作テレビドラマ「男たちの旅路」「岸辺のアルバム」「ふぞろいの林檎たち」など、庶民の姿を描き続け、さまざまな社会問題を浮き彫りにしました。小説「異人たちとの夏」、映画「少年時代」、エッセイ集「月日の残像」でも高い評価を受けています。

一方、小田高との縁を大切に、創立八十周年記念講演「現実の周辺」、同窓会総会講演「後半の人生」、創立百周年記念講演「百年を礎として」と、3回も講師を務めました。この企画展では、小田高在学中の「十八歳のファルス」、3回の講演内容、小田高新聞のインタビュー記事など、小田高との関りををご紹介します。



文芸部『息吹』の「十八歳のファルス」



小田高卒業記念写真



創立百周年記念講演

日時 令和6年5月12日（日）9時～15時  
会場 小田原高校中等教育史料館（南館3階）

入館無料、卒業生でなくてもご入館できます。

令和6年度桜友祭（小田高ホームカミングデー）

# 教材展示室リニューアルオープン！

小田高が令和5年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されたことに伴い、本館に保管されていた大量の生物・鉱物標本が中等教育史料館へ移されました。約600点もの生物標本のうち、学術的な価値の高い絶滅種、絶滅危惧種、ワシントン条約附属書Ⅰ類掲載種といった希少種と、教育学的な価値の高い明治時代の標本をまとめて教材展示室に常設展示し、その他を収蔵庫に保存しました。

これまではご覧いただける生物標本が限られていましたが、今後は多数の貴重な標本をまとめてご覧いただけます。トキ、キタタキ、チョウザメをはじめ、小田原城内高校との統合により3種類のツル、タンチョウ、マナヅル、ナベヅルがそろうなど、大変貴重です。なお、従来の各教科の教科書、物理実験機器、地理歴史の掛図・模型、植物標本なども、引き続き展示しています。

在校生に理科への興味・関心を高めていただき、保護者・卒業生・一般の方々に明治以降の中等教育の活動を体感していただく一助となりましたら幸いです。



日時 令和6年5月12日（日）9時～15時

会場 小田原高校中等教育史料館（南館3階）

入館無料、卒業生でなくてもご入館できます。